

令和6年(2024年)度年間授業計画表						
学年	3 年	学科	全学科	必選		
教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位	2 単位	
使用教材	COMET English Communication Ⅱ（数研出版）					
学習目標	① 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況等に応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。					
	② コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。					
	③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。					
単元と内容						
1 学 期	基礎力診断テスト	単 語 帳 も 授 業 内 で 活	環境のためにできることを英語で述べる			
	Lesson7 You Can Make a Difference		[過去完了形]			
	Lesson8 Nudge		小さな工夫で人を動かす [関係代名詞what]			
	1学期末テスト					
2 学 期	夏期課題テスト			だれもが暮らしやすい社会について英語で述べる		
	Lesson9 The Father of Braille Blocks			[関係副詞]		
	2学期中間テスト					
	Lesson11 The Vancouver Asahi			人権の問題について英語で述べる [知覚動詞]		
3 学 期	2学期末テスト					
	Lesson12 From Small Companies to the World			日本で開発・改良された優れた製品を英語で紹介する		
	学年末テスト			[仮定法]		
評 価						
評価の観点		評価の趣旨				
I	知識・技能	音声・句読法・単語や慣用表現・文構造や文法事項が身に付いている。 実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身に付いている。				
Ⅱ	思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について文章を読み取り、概要や要点を把握することができる。伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして自分自身の考えなどを伝え合うことができる。				
Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	英語や国内外の文化の違いに興味を持ち、その習得と理解に向けて意欲的に取り組むとともに実際に活用しようとする実践的な態度が身に付いている。				
評価方法	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ	年間時数		
	授業プリント(単語・発表原稿) 定期テスト 実技テスト(音読・暗唱・発表)	定期テスト 実技テスト(発表など)	授業の取り組み (プリント・授業態度) 自己評価シート	予定		
				70 時間		
				実施		
置賜農業 育てる能力	②自己肯定感 ④主体性 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑩知識技能					